

おうてもん教育セミナー

追手門学院創立120周年記念講座

プロになる

514種類の職業を紹介した仕事の百科全書「13歳のハローワーク」がベストセラーになって4年。「なりたい職業、知りたい職業」を探すお手伝いをするサイトも登場して中高生の人気を集めています。

今年創立120周年を迎える追手門学院は、ベンチャー企業の社長、指揮者、アナウンサー、大学教授ら多様な職業についての卒業生を講師に招き、その道でプロになるのはどういうことかを、父親、母親に知ってもらう「おうてもん教育セミナー プロになる」を2~3月に計6回開催します。「わくわくドキドキ」する仕事を子どもが選ぶ際に、親が少しでも手助けできればという願いからです。「13歳…」の著者、村上龍さんもインタビューに答えて「自分には一生それをしてワクワクして過ごせるものがきっとあるはずだ、とっていないと出会えない」と話しています。70人。申し込み先着順です。

◆曜日・時間：2月12日~3月25日の火曜
13:30~15:00

◆受講料：6回 1万4,490円
希望講座のみ受講の場合は
1回 2,415円(いずれも消費税込み)

◆受講申し込み・問い合わせ：
毎日文化センター
〒530-8251 大阪市北区梅田3-4-5
☎06-6346-8700 Fax06-6346-8703

※入会金は不要です

2月12日 藤尾 正弘(株)フジオフードシステム代表取締役社長

1講 777店舗展開までの汗と涙と笑いの道程

食堂で生まれ食堂で育ち、幼い頃より外食に携わってここまで参りました。その過程で失敗もありました。しかし、多くの気づきを得ることによって今があると思っております。経験から培った食に対する私の思いや、企業経営に対する考えなどを食のプロの視点からお話します。



2月19日 家田 厚志(ワイルドモニア東京 指揮者、オペラプロジェクト獅子座の星 芸術監督)

2講 夢は必ず実現する!

小さい頃から楽器をやっていたわけでもなく、音楽大学出身でもない私がいかにしてプロ指揮者になれたか。むしろエリートでなかったことが結果としてはプラスに働いた。私にとって良い音楽を生み出すことは目的ではなく、人と人との結びつきを深める一つの方法にすぎない。大切なことは人との関わりであり、それが社会性を持つということである。



2月26日 寺谷 一紀(元NHKアナウンサー、追手門学院大学客員教授)

3講 “伝える”ために必要なこと

トチらずに格好良く話す必要はありません。相手に伝わるのが何よりも大切なことです。そのためには、何を心がければよいのか。どなたでも実践できる、とても簡単な「五つの約束」を、わかりやすくお話しします。放送現場での失敗談やエピソードも交えつつ、コミュニケーションについて楽しく学べる講座にしたいと思っております。



3月11日 荒砂 正名(前大阪府警科学捜査研究所長、前日本法科学鑑定センター代表取締役)

4講 科学捜査官

科学捜査研究所での30数年間にわたるポリグラフ鑑定・研究を通じ見つけた「人間、負の側面」。科学捜査全般に携わった5年間の所長時代に感じた事柄。科学捜査官たる研究員の日常業務と喜びや誇りについて具体例を挙げたいと思います。



3月18日 竜田 邦明(早稲田大学理工学術院教授、早稲田大学高等研究所所長)

5講 自然に学び自然を超す一くすりを創る

「理科離れ」と言われていますが、「科学」ほど身近なものはありません。その原理や仕組みが理解できた瞬間、感動がわき上がり興味につながります。なぜ、ご飯を食べるとエネルギーになるのかと考えた少年時代を振り返りながら、今回は生命現象を「化学」でわかり易く説明し、私が関わったくすりの発明の話をご紹介します。



3月25日 川原 俊明(弁護士法人川原総合法律事務所 所長弁護士)

6講 弁護士は、世界に羽ばたく

追手門学院の中高時代、劣等生だった一学生が、不純な動機から奮起して弁護士を目指した。弁護士は、事件処理によって他人の人生を疑似体験し、自ら奥深い人生を極めることができます。弁護士の活躍の範囲は広く世界に及びます。弁護士への道は、世界のトップリーダーへの近道かもしれません。

